

奈良県障害者技能競技大会
製品パッキング競技概要

1. 課題

競技課題 1 緩衝材の組立・結束

【緩衝材A 2セット（5束/1セット）、
緩衝材B 2セット（5束/1セット）／30分】

競技課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

【2梱包（2箱）／45分】

- ※ 競技課題1の緩衝材A・B（完成品）は、競技課題2で緩衝材A 8束・B 8束を使用します。
- ※ 競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となります。

2. 実施内容及び実施手順

- (1) 競技課題ごとに競技の説明を行います。その後競技を始めます。
- (2) 各競技は、別添の「競技の流れ」及び「詳細説明図」のとおりです。
 - ※ 詳細説明図は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ審査減点対象にはなりません。

3. 注意点

競技の際は、必ず手袋を着用する事。 ※ 手袋は各自で準備する事（2双）
※ 昨年の大会では不慣れなカッターナイフの扱いにより、指を切る事故が起きました。事前にカッターナイフの安全な扱い方について、選手に指導してください。

4. 実施時間

全体説明：10分 各競技課題の説明：各5分×2

競技課題 1 準備：5分 競技課題 2 準備：10分

競技課題 1：30分 競技課題 2：45分

※ 競技当日は練習は行いません。

※ 審査・採点中は選手の方は休憩となります。

5. 競技審査のポイント

競技課題 1 緩衝材の組立・結束

- ①規定された数量を時間内で作成できたか。
- ②製品の向きは正しいか。
 - ※○・□の向きが外側になっているか
 - ※端の製品が向かいあわせになっているか
 - ※○・□が 5 個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか
- ③正しく結束されているか。
 - ※8 cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か
 - ※緩衝材の端から 10 cm以内の位置に結束されているか
 - ※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が 5 cm以内か
- ④外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

課題 2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ①規定された数量を時間内で作成できたか。
- ②緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
 - ※緩衝材の○・□の向きが外側に設置されているか
 - ※緩衝材 A・Bそれぞれ 2 ヶずつ設置されているか
 - ※化粧箱の向きが緩衝材 A 側に縦置き、緩衝材 B 側に横置きされているか
 - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか
 - ※中箱を開時に、小箱の底部が見えないか
 - ※小箱の中に商品が 1 個入っているか
- ③包装テープの止め方はきれいか。課題通りか。
- ④外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

全体説明	課題 1 の説明	競技部材準備	課題 1 競技	⇒	休憩 (審査・採点)	⇒	課題 2 の説明	競技部材準備	課題 2 競技	競技終了 アンケート記入 審査・採点
10分	5分	5分	30分		30分		5分	10分	45分	—